

# 静岡県板 ニュース

発行所 静岡県板金工業組合

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠2-18-7  
(榎田ビル2F)

TEL.054-252-2418  
FAX.054-252-2430

発行人 井上博幸

## 平成22年度に向けての取組み



理事長  
井上博幸

建築板金業界を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にある中、新年度を迎えることとなりまして、前に進むためには前方を見据え、物事全てに対して新たな気持ちで取り組んで行くことが肝要であると思います。

県板の事業活動についても、活動資金の減少などにより運営面で苦しい状況にもあるが、組合員が一致団結し、創意工夫を凝らすと共に、積極的に取り組んでいけば、必ず道は開けて来るものと信じています。

前年度の事業においては、技術技能の向上を図る各種講習会の開催や小中学生のWAZAチャレンジ教室への支援、労働災害防止のための啓発活動や安全パトロールの実施、また経営上の安定に資する責任施工保証事業の推進や各種保険事業の取次事務、更には青年部活動への支援などが実施されました。これらの事

業は組合員各位の協力のもと、一定の成果を上げることができましたが、執行部としては、各事業における反省点を今後の事業に反映させ、向上を図って行きたいと考えています。

22年度事業については、基本的には前年度と同様になるが、取組みの基本姿勢として、新設住宅着工件数が大幅に落ち込む等組合員の経営状況が厳しい中、県板は、何をすべきか、何が出来るのかを常に念頭に置いて取り組んで行く必要があると思います。

例えば、最近各県で関心の持たれている、太陽光発電や住宅版エコポイント制度の活用等について、意見交換や情報伝達を密にすること、また責任施工保証制度の周知拡大を図り非組合員との差別化に努める等も一考かと思われまます。

また、法的に位置付けられた制度として、本年

2月に実施した特例講習により96名の「登録建築板金基幹技能者」が誕生したが、その活用を拡充するため、専門業種団体で構成する制度推進協議会と共同で国及び県当局への要望活動が予定されており、その実現に取組みます。

青年部活動への支援については、後継者の養成、組織の活性化の観点から

## 中板協 通常総会の開催

中部板金工業組合協議会の第32回通常総会が平成22年4月21日に静岡市のクーパーホールで開催された。当日は東海北陸7県から、60名の役員が出席し、また全板連から勝又理事長と柴田専務理事が来賓として臨席された。

総会は静岡県の野村和稔代議員が議長を務め、21年の事業報告案、22年度事業計画案等が審議され、横瀬会長からは、「経営環境が悪化し先行き不透明な状況が続く中、構成7県の連携強化を図り、全板連事業の責任施工保証制度やファインスチール等の普及活動促進に取り組んで行きたい。」との説明があった。質疑応答

も重要な事業であり、各支部においても多面的な支援に努めて頂きたいと思えます。

## 第22回 沼津技術専門校テクノフェア開催

目的は、職業能力開発校としての本校を紹介すると共に、職業能力開発に対する一層の理解を促し、技能の素晴らしさと尊さを再認識してもらうなど、東部地区における職業能力開発の拠点として各種機関、団体と連携し「技術、技能の重要性が理解される社会」の形成を目指す。

これらの目的をもって平成22年3月7日(日)雨天のなか関係者の参加を得て、10時より開催された。

静岡県板金工業組合東部地区もテクノフェアに積極参加し多数の人々が来場して銅板画に挑戦、役員の指導のもと色鮮やかな銅板画が完成、みんな喜んで持ち帰った。

又、ステンレスバケツや塵取りなど、多くの人たちが買い求め、価格の安さに満足し「にこにこ顔」で喜んで持ち帰った。

役員製作の銅板ヘラ出し画や折鶴、全国建築板金技能競技大会の課題作品にも来場者は興味を示し見入っていた。

中には業務について質問する人もいて関心の深さを物語っていた。業界をPRすることができ実りある一日であった。

参加者は、井上博幸理事長、林紀明東部地区長、重杉甫常任理事、野村和稔常任理事、中村敏一主任会計、木村公一沼津支部長、山田衛技術検定副部長、鈴木隆彦技術検定副部長、段原良則三島支部長の9名。

報告者 野村和稔





# 技術検定委員会開催 平成22年度事業計画を審議

技術検定委員会は、22年4月15日に静岡総合福祉会館で開催され、井上理事長、松浦委員長を始め18名の委員が出席し、審議では前年度事業を総括し、今年度事業へ反映させるなど熱心に討議が行われた。

### 1 WAZAチャレンジ教室の支援について

実施学校は、県予算の関係で前年度13校から別表のとおり10校になった。担当支部と責任者を決定し、今後学校側の担当者と連絡を密に進めることとした。

課題作品は、今年度は「バラ」にすることとし、特別支援学校等においては、自由課題で対応することになった。

### 2 技能検定試験への対応について

実技講習会は、6月5日(土)・6日(日)にポリテクセンター静岡で実施することになり、学校講習会は8月24日(火)・25日(水)に静岡労政会館で開催することが決まった。

検定試験及び講習会の委員、補佐員並びに講師は、例年どおり技術検定員会の委員の中から選任された。

### 3 技能競技大会について

事前講習会を9月下旬、競技大会を10月中旬にAコース、Bコースともポリテクセンター静岡(予定)で開催することとなった。

近年、参加者が減少しているので呼びかけを行うことを確認した。また、全国競技大会における成績不振についての言及があり、今後は出場者の所属する支部を中心に支援して行くことになった。

### 4 WAZAフェスタについて

今年度は、7月31日(土)・8月1日(日)に富士市の「ふじさんめッセ」にて開催されることになった。県板としては、東部地区が主体となって参加し、中部、西部地区はこれに協力することになった。

## 平成22年度 WAZAチャレンジ教室一覧表

学校名	実施日	生徒数	担当支部名	責任者	学校名	実施日	生徒数	担当支部名	責任者
浜松市立丸塚中学校	前期 5月18日(火)	25名	中遠支部	大石光夫	御殿場市立原里中学校	6月30日(水)	25名	御殿場支部	鈴木隆彦
浜松市開成館中学校	5月19日(水)	16名	浜松支部	岩崎則幸	静大付属特別支援学校(中学部)	後期 9月21日(火)	17名	静岡支部	山本泰義
沼津市立原東小学校	5月25日(火)	15名	富士支部	野村和稔	沼津市立第一小学校	10月15日(金)	21名	沼津支部	木村公一
焼津市立焼津西小学校	6月17日(木)	24名	焼津支部	河合信夫	浜北特別支援学校(中学部)	12月2日(木)	25名	西遠支部	佐藤隆則
沼津市立大岡中学校	6月22日(火)	25名	三島支部	段原良則					
沼津市立第五中学校	6月29日(火)	22名	沼津支部	木村公一	合計		215名		

## 協力店との 意見交換会の 開催

建築板金業界にとっても、大変厳しい経済状況が続く中、組合員にとって色々な面で関係の深い、資材取扱業の協力店の皆さんとの意見交換会が、22年3月12日静岡市のクーパール会館で開かれた。

協力店からは、株式会社植松、株式会社高橋建材、株式会社梅村商店、西川鋼板株式会社、4社が出席され、当常任理事会のメンバーと活発な意見交換がなされた。

協力店側からは、「住宅着工の落ち込みだけでなく、東海道筋の自動車関連産業の不振も痛手だ。鉄鉱石の値上げ等でステンレス等の価格の予測は難しい。エコポイントの動向に注目したい。」などが述べられた。一方、組合員からは、「施工単価の下落が大変になってきているうえ、他県業者のダンピングも目立つ。大手ハウスメーカーの存在が益々高まり、町場の大王の仕事などが減少している。施工業者にとって、材料店での値引きはほとんど不可能であるが、工事費はほとんど値切られる。」等、深刻な訴えも多く出されたが、最後はお互いに今後とも円滑な意思疎通が図られるよう確認のうえお開きとなった。

# 第32回全国建築板金競技大会に参加して

平成22年2月13日(土) 14日(日)の2日間にわたり、厳寒の中、富士宮市朝霧の富士教育訓練センターで開催された。



全板連、日板協の勝又貞治理事長に挨拶をしてから大会統括責任者の金井保栄君、設営協力者、中部ブロック、静岡県板金青年部長の小澤範久君に大会準備の労をねぎらった。

14時20分より開会式が始まり、式次第に従い、来賓挨拶、大会審査委員長の後金井大会統括責任者が挨拶に立ち、選手諸君にエールを送った。

式終了後、選手、役員らの記念撮影が霧の中で行われた。その後、選手達は各部門会場に別れ審査員より競技上の説明、持参道具の点検等が有り散会となった。

今夜は鋭気を養い明日に繋いで欲しいと願う次第である。

静岡県板金を代表して技能競技の部(ZIC)に大塚雅史、小林悦正の両君が銅板蓋付き水差しの製作に挑戦する。ZICの目的は技能者が新しい時代の要請に応じて、技能の基本に立脚し創意工

夫を重ね、建築板金業に於ける生産力の基礎を成す技能の継承及び向上を資することであり国民の住生活向上に重要な役割を担う建築板金業の基本能力である技能の振興に対する決意と取り組みを内外に表明することである。

この目的のために選手諸君は真剣に課題に取り組み日夜、練習に励んだのであります。

2日目は昨日と変わりに天候も回復し早朝には霊峰富士の頂から朝日に輝くダイヤモンド富士の姿が見え、全国各地より本大会に宿泊参加した選手、役員の皆様には記念すべきひと時であったと思います。

昨日に続き県板役員、井上理事長、林東部地区長、松浦中部地区長、北村、青木、野村各常任理事が出席いたしました。

注意事項の説明があり8時より競技が始まった。持ち時間3時間30分の間に選手は真剣な眼差しで持てる力を一杯発揮し図面に展開図を描き、銅板台座取付、取手、蓋付き水差しの製作に全力を注いで挑戦し時間締め切りまで頑張った。ロスタイム30分が与えられ未完成的の選手は内心は焦りと己の力不足に悩みで心は揺れ動いているが態度には表さないように努め、懸命に作業を続ける姿は立派であった。

結果は後日、発表となるが、精一杯成し遂げたことは成績の如何を問わず、人生の貴重な経験となり今後あらゆる困難な場面突き立っても逡巡することなく解決する力を見出すことが出来れば大きく人間として成長した事になる。

本大会を修了した選手が閉会式に現れた。満足感で笑みに満ちた顔、悔しさを堪えて耐える顔、どちらもある人間として素晴らし顔であった。

閉会式では来賓、大会実行委員長、静岡県板井上理事長の挨拶、富士教育訓練センター校長の選手

らう挨拶があり大会が修了した。

全国から集まった選手諸君は帰郷して各県板組合の要となり後輩の指導育成に尽力していただけるものと信じてやみません。

外部来賓の皆様、本部来賓の皆様、内部来賓井上博幸様、設営協力者の全国各ブロック役員の皆様、全板連・日板協青年部役員の皆様に関係者の皆様として感謝の意を表する次第であります。連日に亘り本当にご苦労さまでした。

厚生労働委員会 部長 野村和稔記す。



欲しい物がここにある

鉄鋼二次製品 / 銅・アルミ・ステンレス / 化学製品  
機械工具 / 住宅設備機器 / エンジン発電機・溶接機

さまざまなニーズにお応えします

## 西川鋼販株式會社

本社 / 〒437-1302 掛川市大洲9617  
TEL 0537-48-3828(代)  
FAX 0537-48-2644

トタン板・カラー鉄板・ナショナル雨とい  
三晃式長尺瓦棒・三晃式折板構造

## 株式会社 釜慶商店

浜松市北島町760番地  
電話 053-423-0007代 FAX.053-423-0010

訃報

謹んで  
お悔やみ  
申し上げます

故 水島 誠  
二十二年三月十七日  
(七十一歳)

セキノ横段葺屋根工法

## ダンネットトップ 快適横段15

スッキリした  
屋根ラインが美しい 快適エコルーフ

ジョイント部材不要 施工性

二重防水構造 防水性

遮熱塗装鋼板使用 遮音性

断熱ボード工法 断熱性

# プレステージ

やね屋の太陽光発電! やってます!!

## 株式会社 植松

本社 沼津市西沢田200-1 TEL 055-922-1555  
沼津営業所 沼津市西沢田200-1 TEL 055-922-1555  
御殿場営業所 御殿場市清後545-1 TEL 0550-83-6760  
伊東営業所 伊東市宇佐美稲田1111 TEL 0537-47-1363  
富士営業所 富士市松岡寺新田413-5 TEL 0545-62-0233  
製造部 沼津市西沢田200-1 TEL 055-922-1004  
販売部 沼津市西沢田200-1 TEL 055-922-1555